

# 建設環境常任委員会

## 9 議案 可決

道路・橋りよりの建設や管理、上下水道事業、環境、商工業、農業、観光、防災、市民生活に関することなどの議案等を審査しています。

### 令和3年度行田市交通災害共済事業費特別会計予算

**問** 令和3年度の会費の徴収方法は。

**答** 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、従来どおり自治会で取りまとめる方法と、個人で市役所の窓口で納付する方法とを自治会ごとに選択できるようにしている。

**問** 自治会単位で取りまとめを行わなくとも、例年と同等の加入者数が確保できるのか。

**答** 実際に個人加入を選択している。



審査風景

ている自治会もある中、個人では加入しないという方も出てくることは想定されるため、例年の加入者数を下回る可能性もあると考えている。

**令和3年度行田市水道事業会計予算**

**問** 配・給水管や施設の緊急修繕のために計上している予備費が前年度対比20倍に増額している理由は。

**答** 全国的に大規模な漏水等が発生しているため、増額計上したものである。

**令和3年度行田市公共下水道事業会計予算**

**問** 下水道取付管工事補助金の内容は。

**答** 本市の公共下水道区域内において、鴻巣市の公共下水道に接続する際の取付管工事に対する補助金であり、1カ所につき上限50万円の補助を行うものである。

**問** 本市の下水道への接続に對しても貸付制度のみでなく、補助制度を設けないのか。

めるものである。また、令和3年度に改定を行う基本計画は、ごみ処理量の見込みや分別方法、処理施設の整備に関する事項などを定めるものであり、これらは相互に密接に関連するものである。

**○生ごみ処理機器購入費補助事業**

**問** 補助額はどの程度か。

**答** コンポスト及びEM容器については補助率10分の10、上限3千円であり、電気式処理機については補助率10分の10、上限1万5千円である。

**問** 市民への周知方法は。

**答** 市ホームページ及び市報などで周知を行い、4月以降購入した場合は遡及適用させ、対象とするよう考えている。

**○(仮称)さきたま市場整備事業**

**問** さきたま市場としてどのような施設を整備する考えか。

**答** 飲食店及び市内の農産物並びに物産の販売施設のほか、観光情報の提供機能を有する施設を建設する考えである。

**○循環バス運行事業**

**問** 利用者一人当たりの運行経費は。

**答** 令和元年度決算では、一

番収益率の高い路線は南大通り線で1人1回当たりの乗車に係る経費は256円である。対して、最も収益率の低い路線は東循環で1人1回当たり2924円である。

**○常盤通佐間線街路事業**

**問** 令和3年度における埼玉県の実施事業の内容は。

**答** 橋りよりの予備設計及び地質調査を行うと聞いている。

**○河川等改修事業**

**問** 中央小の校庭に貯留施設を設置することがどのように忍川の洪水対策になるのか。

**答** 中央小周辺に降った雨水は緑町ポンプ場へ送られ、豪雨時は緑町ポンプ場から忍川へ排水されているため、中央小の校庭に貯留施設を設置し、一時的に雨水の流出を抑制することで、忍川の洪水対策に寄与するものである。

**○防災体制整備事業**

**問** 令和3年度は指定避難所へどのような備蓄を行うのか。

**答** 備蓄食料及び水の賞味期限が切れるものを入れ替えるほか、簡易トイレ及び生理用品等の配備を順次進めていく考えである。

**○新ごみ処理施設整備事業**

**問** ごみ処理基本計画の改定を行うとのことだが、令和2年度に行った基本構想策定業務との関わりはあるのか。

**答** 令和2年度に策定している基本構想はごみ処理全体の現状と課題を整理し、施設整備に向けた基本的な方針を定

るものである。また、令和3年度に改定を行う基本計画は、ごみ処理量の見込みや分別方法、処理施設の整備に関する事項などを定めるものであり、これらは相互に密接に関連するものである。

**○生ごみ処理機器購入費補助事業**

**問** 補助額はどの程度か。

**答** コンポスト及びEM容器については補助率10分の10、上限3千円であり、電気式処理機については補助率10分の10、上限1万5千円である。

**問** 市民への周知方法は。

**答** 市ホームページ及び市報などで周知を行い、4月以降購入した場合は遡及適用させ、対象とするよう考えている。

**○(仮称)さきたま市場整備事業**

**問** さきたま市場としてどのような施設を整備する考えか。

**答** 飲食店及び市内の農産物並びに物産の販売施設のほか、観光情報の提供機能を有する施設を建設する考えである。

**○循環バス運行事業**

**問** 利用者一人当たりの運行経費は。

**答** 令和元年度決算では、一



中央小学校の校庭